

2007年9月（第82回）景気定点観測アンケート

本年度後半の見通しは「横ばい」が目立って増加
参院選結果の日本経済への影響について、「成長を鈍化させる」が過半数

経 済同友会は9月7日、2007年9月期の景気定点観測アンケート調査結果を発表した（回答数231名）。

今回の調査では、景気の現状について「拡大している」「緩やかに拡大している」との回答が引き続き最も多いものの、「横ばい」との回答が業種・地域を問わず増加。07年度後半も引き続き、景気は「緩やかに拡大する」

との見方が多いものの、「横ばい」との回答が目立って増加した。「拡大する」「緩やかに拡大する」の合計は59.0%で、これは2005年3月調査（41.5%）以来の低水準となっている。

また、今回のトピックスとして「経済見通し」「参議院議員選挙結果を受けて」の2項目について調査を行った。選挙結果が日本経済に与える影響につい

ては、「成長を鈍化させる」「どちらかといえば鈍化させる」が合わせて52.4%と過半数を占めた。政治が今後優先的に取り組むべき課題としては、「歳出削減の徹底」を1位とする回答が最多で、「医療・介護・年金制度の一体的見直し」が続いた。重要度の順位を考慮してスコアリングすると、「医療・介護・年金制度の一体的見直し」が1位だった。

景気の現状について

Q 現在のわが国の景気動向をどのように判断されますか。

	全 体					(社) 経済同友会	各地代表幹事
	06年9月	06年12月	07年3月	07年6月	07年9月		
拡大している	7.3	3.0	1.4	1.8	0.4	0.6	0.0
緩やかに拡大している	82.8	80.2	84.9	80.8	75.3	77.5	69.0
横ばい状態が続いている	9.2	16.9	12.7	15.6	22.9	20.8	29.3
緩やかに後退している	0.8	0.0	0.9	1.3	1.3	1.2	1.7
後退している	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

前回調査に比べ、「横ばい」が7.3%増加。「拡大」「緩やかに拡大」の合計は80%を割り込んだ。

2007年度後半（07年10月～08年3月）の景気見通しについて

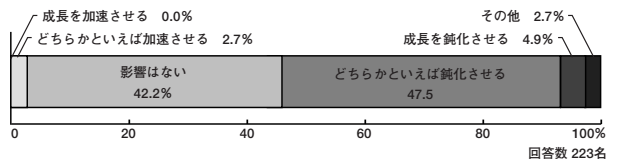
Q 2007年度後半（07年10月～08年3月）の景気についてどのようにお考えですか。

	全 体				(社) 経済同友会	各地代表幹事
	現状判断※	07年3月時*	07年6月時*	今後の見通し		
拡大する	0.4	1.9	2.7	0.0	0.0	0.0
緩やかに拡大する	75.3	80.7	73.5	59.0	63.7	44.8
横ばい状態が続く	22.9	15.6	22.0	36.7	31.6	51.7
緩やかに後退する	1.3	0.9	1.8	3.9	4.1	3.4
後退する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.9	0.0	0.4	0.6	0.0

※注）今回調査の景気判断の数値です。
*注）07年3月時の回答は07年4月～07年9月、07年6月時の回答は07年7月～07年12月についての見通しです。

トピックス——第21回参議院議員選挙結果を受けて

Q 今回の選挙結果は、日本の経済成長にどのような影響を与えられますか。



Q 選挙結果を踏まえ、政治が今後優先して取り組むべき課題は何だと思われますか。重要と思われるものから順に3つお選び下さい。

	回答率	1位回答率	平均スコア
医療・介護・年金制度の一体的見直し	57.6%	21.9%	1.25
歳出削減の徹底	48.7%	32.1%	1.23
規制改革の推進	29.4%	12.5%	0.64
格差（中央と地方、企業規模間）の是正	25.4%	8.9%	0.53
地方分権の推進	24.1%	4.5%	0.42
直間比率見直し等の税制改革	19.5%	3.1%	0.33
外交・安全保障	18.3%	3.1%	0.33
地球環境問題	19.6%	2.2%	0.31
教育改革	12.5%	1.3%	0.21
政治とカネの問題	11.5%	3.1%	0.20
少子化対策	11.1%	3.1%	0.20
公務員制度改革の推進	9.3%	1.3%	0.16
EPA・FTA交渉の推進	10.2%	1.3%	0.15
憲法改正に関する議論	1.3%	0.0%	0.02
その他	0.0%	0.0%	0.00

平均スコアは、1位：3点、2位：2点、3位：1点、順位をつけていない回答は2点、4位以下：0点として算出